
ある戦い

夏氷/MDT128

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ある戦い

【Nコード】
N6873T

【作者名】
夏氷 / MDT128

【あらすじ】
夏の日の壮絶な戦いの話。

その壮絶なる戦いは、夏の暑い日に突然起きた。

上空には飛行物体が激しく行き交い、地上では巨大な要塞が大地を揺るがす程の攻撃を行っていた。

上空を走るいくつかの飛行物体は、お互いに意志の疎通をしているところだった。

「今回の敵はなかなか手ごわいぞ。なかなか着陸できそうにない」

「相手も新しい兵器を導入したようだな。見ろ、毒ガスが噴射されているぞ」

その先にある要塞のノズルからは、白いガスが絶えず彼らを撃墜する為に噴射されていた。

「これでは敵に近付くことができない。どうする」

「我々が囷になろう。その隙に君は要塞の中枢を攻撃してくれ」

かくして、それが行われた。複数の飛行物体が、要塞めがけて飛んでいく。

空気を切り裂き、虚空を駆けるその姿は、まさに戦闘機のようなだった。

しかし相手も気を引いていなかった。上部にある機動性抜群のアイムが、彼らのうち一体を

殴打し、粉々に握りつぶしてしまった。

「くそ、なんということだ」

しかしここは戦場、犠牲にいちいち目を向ける暇はない。

それに犠牲者が望んでいるのは、仲間の悲しみではなく勝利なのである。

言ってしまえば戦場とは非情なものだ。

それを心得ている彼らは、要塞の外部音声を受信する場所を横切った。

要塞内にはその轟音が響き、攻撃が一瞬ひるんだ。

けたたましい轟音を鳴り響かせ、要塞の兵器照準を引きつける。

その時、隙を覗って待機していた仲間が、要塞の中枢部分に着陸した。

ここにノズルを差し込み、要塞の電力を吸い出せば、要塞の機能は一気に衰退する。

すなわち、彼らが勝利するのだ。

その間、照準を引きつけていた者たちは、ただひたすら攻撃を避けていたが、

遂にアームと毒ガスの猛攻により、全滅した。

「まずい、手短に終わらせよう」

中枢に降り立っている物体は、ノズルを伸ばしかけたが、それをとらえた要塞のカメラから

信号が伝わり、アームに攻撃命令が起きる。

「うわ、大変だ。撃墜されるぞ、逃げろ」

しかしそれは間に合わず、彼はアームに叩き潰され、四散した。

「これだから夏は嫌いなんだ」

一匹の蚊が無情な男によって平手打ちを喰らったところだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6873t/>

ある戦い

2011年10月9日04時13分発行